

まちの話 だい

10月9日 | 土俵際の真剣勝負

東町の八幡神社境内で、恒例の「東町少年・少女相撲大会」が行われ、地元小学生の男女約100人が出場し、熱戦を繰り広げました。

この相撲大会は、地域住民の交流などを目的として、秋の例祭に合わせて東町コミュニティ委員会が開催しています。客席からは、大技が繰り出されたり、微妙な判定に物言いがついたりすると、一喜一憂の歓声が湧いていました。



10月26日 | 合宿で郷土文化を学ぶ

市内小学生の宿泊体験「通学合宿」が島田高校修己館で行われ、島田第一小の参加者50人を対象に、「大井川輦台越し学習会」が開かれました。

これは大井川輦台越し保存会が、次世代に川越しの文化を伝え、郷土の歴史に興味持ってもらうことを目的に企画しました。児童たちは、川越人足のふんどしと衣装などを身にまとい、当時の職業や生活に思いをはせていました。

10月19日 | 芸能の奥深さを体験

金谷小学校で、落語家の三遊亭遊喜さん（島田市ふるさと大使）を招き「古典芸能を楽しむ会」が開かれました。また、服部正美校長と紙切り芸人の林家花さんも加わり、それぞれ落語と紙切りを約600人の児童に披露しました。

子どもたちは、落語の軽妙な語り口や紙切りの手さばきに目を輝かせながら、壇上でレクチャーを受けるなどして、芸の深さを体感しました。





10月8日 | 楽しみながら相互理解

島田市社会福祉協議会がプラザおおりで、38回目となる福祉イベント「ふれあい広場」を開催し、多くの市民が訪れました。

会場では、点字・筆談体験や手話教室のほか、模擬店や恒例の「赤ちゃんハイハイレース」も開かれました。子どもから高齢者まで幅広い世代の来場者は、障害の有無に関わらず楽しみながら触れ合い、共生社会への理解を深めました。

10月26日 | 実りの秋を仲間と体感

相賀小学校の学校田で稲刈りが行われ、同校の4～6年生22人が参加しました。

児童たちは、地域の老人会やボランティアの指導を受けながら、慣れない鎌を使ったり、コンバインに乗車したりして、黄金色に実った稲穂を刈りました。収穫したのは、児童が5月に苗を植え付けたもち米で、11月30日(木)に開かれる「おおかや祭」で、来場者に振る舞われます。



10月31日 | かわいい仮装で大行進

くりのみ保育園の園児たちが、毎年恒例のハロウィーン・パレードを行い、かわいいお姫様やヒーローなど、工夫を凝らしたさまざまな仮装をして市内を練り歩きました。

園児たちは、お気に入りのキャラクターやイタズラお化けになりきって大はしゃぎ。行進の途中に市長の元も訪れ、市役所の来庁者や職員たちにも元気を届けてくれました。